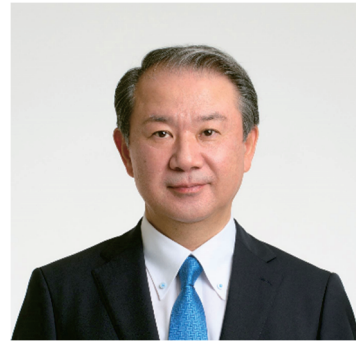


## はじめに



近年、全国的に少子高齢化による人口の減少が進み、「団塊の世代」が75歳以上の後期高齢者となる令和7年が近づく中で、更にその先を展望しますと、いわゆる団塊ジュニア世代が65歳以上となる令和22年に向け、生産年齢人口の減少が加速し、高齢者人口がピークを迎えていきます。

本市におきましても、今後は人口の減少とともに65歳以上の高齢者人口も緩やかに減少していく見込みですが、令和7年には、高齢化率は32.5%に達し、更に高齢化が進むと推定されています。

このような状況の中、「地域共生社会の実現」と「地域包括ケアシステムの更なる深化・推進に向けた取組みの促進」を目指すため、新しい基本理念「ともに支えあい、高齢者が笑顔で健やかに暮らせるまち～健幸で安心・安全な長寿社会を目指して～」を設定し、「高齢者保健福祉計画」及び「介護保険事業計画」を一体的に取りまとめた「第9期飯塚市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」を策定いたしました。

本市がこれまで推進してまいりました「地域包括ケアシステム」を更に深化・推進を図ることとしており、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制を推進してまいります。

また、多様化する福祉ニーズや課題に対応するとともに、中長期的な人口構造の変化等を勘案しながら介護ニーズやサービスを見込み、医療計画と介護保険計画の整合性を確保しながら、今後の安定的な介護保険事業の運営を図っていくこととしております。本計画の目標等の実現には、行政のみならず、自治会やまちづくり協議会等の地域のご協力が不可欠であり、ともに支えあい、高齢者の皆様が健幸で、安心して年を重ねていけますよう、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画を策定するにあたり、さまざまな視点からご審議いただき、かつ、貴重なご助言・ご意見を賜りました飯塚市高齢社会対策推進協議会委員の皆様、高齢者実態調査や意見募集に際し、貴重なご意見をお寄せいただきました市民の皆様に対しまして心からお礼申し上げます。

令和6年3月

飯塚市長 武井 政一